

午後1時20分再開

○議長（小川 廣康君） 再開します。

報告します。大浦孝司君から早退の届け出があっております。

---

## 日程第2. 市政一般質問

○議長（小川 廣康君） 日程第2、市政一般質問を行います。

本日の登壇者は2人を予定しております。

それでは、届け出順に発言を許します。6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） こんにちは。おなかがいっぱいですね。頑張ります。よろしくお願いたします。

まず、一般質問をする前に、少し時間をいただきたいと思いますので、御了承願います。

10月31日に朝鮮通信使に関する記録が「ユネスコ世界記憶遺産」に登録されましたことにつきまして、心からお祝いを申し上げます。また、朝鮮通信使縁地連絡協議会の松原一征理事長初め、関係者の皆さまのお喜びはいかなものであろうかと御推察申し上げます。私も、島民の一人として、うれしく感激しております。

これから先の活動が国の内外的に定着するまでは、大変な御苦勞があろうかと思いますが、対馬市浮上のため頑張っていたきたいと思います。

また、一方では、朝鮮通信使行列再現の先駆けとなられた人のことを忘れてはいけないと思います。それで、そのルーツについて、私が知り得たことを少しお話させていただきます。それは、今、交流センターが建っている所で商売をされていた大阪屋さんという呉服店がありましたが、その呉服店の御主人庄野晃三郎さんのことです。庄野さんのことを紹介したいと思います。

その当時の厳原町が朝鮮通信使行列の再現事業として、韓国人の歴史家の先生に、江戸時代の朝鮮通信使の映画を対馬で上映してほしいと依頼され、それが実現しました。その映画を見られた庄野さんが感動されて、歴史を再現して観光客を増やそうと思い、当時の長町長と吉永商工会長に相談されたそうです。それからすぐに1人で韓国に行き、衣装100人分を自費で買いそろえて、その年の昭和55年に港祭りに100人規模で、「第1回通信使行列」が開催されたと聞いております。

その後、59年5月まで第5回までの5年間にわたり、朝鮮通信使を精力的に手がけられ、疲勞が重なったのか、59年12月に入院され、わずか4カ月の闘病生活の中で、73歳にて永眠されました。まさに庄野晃三郎さんは、現在の通信使行列再現の先駆けとなられた人だと思います。

その後、昭和55年から平成19年までの28年間の長い歳月を現在まで受け継がれて、世界

遺産を目指して頑張れたことを感謝しますとともに、いろいろの活動を通じて、これら関係者皆様の御苦勞が実り、見事な大輪の花を咲かしていただきました。この報告を一番喜ばれているのは故庄野晃三郎さんだと、私は思います。

また、現在、朝鮮通信使振興会の顧問をされておられる息子さん、庄野伸十郎さんや親族の皆様には感慨無量だと思います。御推察を申し上げますとともにおめでとうございました。私も、このころ、昭和57年ごろは婦人会長として朝鮮通信使行列振興会の委員をしておりました。

なお、庄野晃三郎さんが朝鮮通信使再現の先駆けとなられたいきさつ、ルーツを後世に末永く語り続けていかなければと思っております。新聞記事には、このことが書かれてなく、ほんとに残念に思いましたので、この場をお借りして御紹介をさせていただきました。

ちょっと余談になります。島外者に対する対馬の認知度について、日曜日のあるテレビ局「アタック25」のクイズ番組ですが、私は見ていませんが視聴者からの話です。

題名は、次の写真を見て日本のどこの市でしょうかという問題の中で、ヒントとして、1番カメラ、2番朝鮮通信使行列、3番和多津美神社、4番島全体の航空写真でしたが、いずれも回答ができませんでした。世界遺産に登録決定後のクイズ番組だっただけに、少々残念に思いましたが、まあまあこんなものだろうとも思いました。いずれにしましても、対馬を取り上げてくださったテレビ局に感謝しております。

次に、高速船ヴィーナスの座席指定、11月1日から実施されていることに対して、九州郵船さんに心からお礼を申し上げます。それというのも、私が前回、平成16年3月から21年6月まで市議会議員をしていた時の平成18年9月20日に、一般質問で高速船ヴィーナスの座席指定について質問をしております。この日は私の誕生日だったのでよく覚えております。

その時の松村市長の答弁は、「長崎・福江間に就航してる九州商船、あるいは全国的に高速船を就航している海運事業者では、大体座席指定を導入されている。九州郵船さんも検討しているということですが、検討している中では、いろいろ問題があるらしいが、市としても九州郵船さんにこれからも要望していきます。」という回答をいただいております。その後、私も九州郵船さんにも何度かお願いし、このほど、ようやく11年ぶりに願いがかない感無量でございます。

私も、このことについて乗船がスムーズにいくか、いろいろ心配だったものですから、様子を見に行きましたが、誰1人として早くから並ぶわけでもなく、乗船の案内があつてから、椅子を立ち上がり、スムーズに乗船されていました。よかったなと胸をなでおろしたところです。

しかし、ヴィーナスに乗船するためには、重い荷物を持ち、階段を上り、また狭い階段を下りて乗船されている姿を見た時、何て不合理なことだろうと思いました。このことは、いつも問題になっているんですが、現在に至っても改善されていません。1日も早くターミナルの整備工事が完成することを願っております。

また、座席指定に関して、改善費用は1億円弱かかったと九州郵船さんは嘆いておられますが、乗客の皆さんが大変喜ばれていることに対して、市民の皆様にご貢献したということで御勘弁をお願いしたいと思いますし、また、私の友人が壱岐におります。その人にも壱岐の関係もあるものですから尋ねてみたら、旅行する時、家族旅行、グループで旅行、そのときはスムーズにみんなと一緒に座られて、すごく助かっている。そしてまた、並ぶこともなくスムーズに乗船できて、大変うれしいですという、この方も……。

○議長（小川 廣康君） 吉見議員、吉見議員に申し上げます。通告外ですので本題に入っていただけかもしれません。

○議員（6番 吉見 優子君） はい。ということで長い間時間をとりましたが、どうしても感謝の気持ちを伝えたく時間をいただきました。

では、気持ちを切り替えて一般質問にいたします。

まず、厳原港離島ターミナルの整備工事の進捗状況についてお尋ねいたします。また、厳原港ターミナルの外灯が暗く、外灯としての用を足していません。対馬の玄関口として情けない思いでいっぱいです。

また、駐車場の中も外灯がなく、特に夜中のフェリーが寄港する時は真っ暗です。31年に駐車場の整備がされるとのことですが、それまでの間、簡単な外灯の設置をお願いいたします。

次に、2番目に、対馬市観光情報館ふれあい処についてですが、休館日はいつでしょうか。

以上、2点についてお尋ねいたします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 吉見議員の御質問にお答えいたします。

厳原港はフェリー、ジェットfoil、貨物船等の国内線が就航し、島民の生活を支える重要な拠点となっております。また、近年では、韓国からの観光客が急増し、重要な物流、人流の拠点となっております。

しかしながら、既存の岸壁及びターミナルビルでは、国内線、国際線、さらに貨物船が混在し、危険で非効率な運用となっております。そのため、物流ゾーンと人流ゾーンを分離し、荷役の効率化を図るとともに、乗客の安全性及び利便性の向上を図ることを目的とし、国・県・市の事業により、ターミナルビルを含めた港の再編事業に取り組んでいるところでございます。

岸壁等の整備状況でございますが、物流ゾーンにつきましては、平成15年から沖側を埋立て、新たに岸壁を整備し、平成22年度から貨物岸壁として供用開始しております。

人流ゾーンにつきましては、平成25年度から国内航路用のマイナス5.5メートル岸壁及びマイナス4メートル物揚場を整備中でございます。

なお、本計画の事業期間につきましては、当初、平成15年度から平成30年度までを予定し

ておりましたが、既存防波堤の撤去方法等の変更によりまして、平成34年の完成予定となっております。

次に、国内ターミナルビルの整備状況でございますが、現在、整備中のマイナス5.5メートル岸壁の背後に、鉄筋コンクリート造り2階建のターミナルビルを建設予定であります。今年度着工し、平成31年度に完成する予定でございます。

次に、厳原港ターミナルビルの外灯についてでございますが、現在、国内のターミナルビルの屋上に3灯の照明灯が設置されており、夜間の船舶着岸時に点灯しております。

施設の管理者のお話では、船舶着岸用の照明ということで、下船時のお客様の足元を照らすまでには至っていないという状況だそうです。今後、照明灯の照度及び照射方向等を検討し、下船時のお客様に支障がないよう改善を図ってまいりたいというふうに考えております。

それと、この中で、2点目で、駐車場の照明灯の話もございました。確かに、こちらのほうでも調べたところ、照明灯がないということで、次にまた、160台から260台への駐車場の変更等もございますが、暫定的にこの照明灯をつけたいということで、今、検討を重ねております。

次に、対馬市観光情報館のふれあい処つしまについてでございます。対馬市建設計画の中で、にぎわいづくりを先導するゾーンとして長屋門を再現する形で建設し、交流人口の拡大と商工業の活性化を図ることを目的に、平成27年4月から対馬観光物産協会様と指定管理の協定を結び、運営をしております。

対馬の観光窓口としての機能や観光情報の提供のほか、特産品の展示・販売、対馬食材を使った料理の提供等を行っていただいております。対馬観光物産協会様の御努力により、対馬の観光拠点としての役割をしっかりと確立していただいております。

御質問の休館日につきましては、観光情報館ふれあい処つしま条例施行規則によりまして、休館日を年末年始とすると定め、それ以外につきましては、年中無休で運営をいただいております。なお、この休館日につきましては、条例により指定管理者は市長の承認を得て休館日を定めることができる旨の規定がございます。

観光の振興を図る上で、おもてなしの充実を図ることは必須であり、特に観光関連施設につきましては、観光客が多数御来島いただく土・日や祝祭日を初め、御質問があつております年末年始の開館が要望等も多くなっており、市といたしましても、利用者の利便性の向上やおもてなし向上の一環として、関連施設の皆様に御配慮いただきたいと思つております。

ふれあい処つしまにおきましては、観光物産協会様も同様の要望等をお聞きになっておりまして、観光客や帰省客に対するサービスの向上を御検討いただいております。スタッフなどの配置などの理由によりまして、年末年始全期間の開館は困難であります。一部の期間を部分的に開館できないかという方向で御検討をいただいております。来春の年始の一部に、特産

品の間、観光の間、事務室の窓口を試行的に開館してみたいとの協議をいただいているところでございます。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） ありがとうございます。

国際事業の関係で、国際航路と国内航路についてお尋ねしますが、市民の皆さんはよく聞かれるんですけども、「なぜ国内航路が奥なのね、遠いのね」と聞かれます。私は大体伺って聞いておりますけれども、市民の皆様がよくおわかりになっておりませんので、ちょっと詳しくひとつお願いしたいと思います。

それと、駐車場の関係を言われましたけれども、新たな駐車場は、今さっき山本議員が言われたこの台数じゃあ少ないんじゃないかという話でしたんです。それもわかります。それで、この駐車場は平たんなんでしょうか、立体でされるんでしょうか。青写真ができてあるだろうと思いますので、その辺をお願いいたします。

以上。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） この国内線の発着所が奥のほうにあるのはどうなのかということでございますけれども、この国内線の着岸壁を整備する上でも、現在の航路を止めるわけにはまいりません。そういう関係で、もともと物流ゾーンでありました岸壁を沖のほうに移動させまして、その物流ゾーンに、今度、人流ゾーンとして国内線の発着岸壁をつくるということになっているようでございます。

それと、そのすぐ背後に駐車場を設ければ、これまで200メートルほど移動していた駐車場までのストレスもなくなるのではないかというようなことが考えられた上でのことであるというふうに聞いておりますし、それとまた、この駐車場についての構造の件でございますけれども、私のほうでは、この駐車場につきましては、立体の2階建ての駐車場というふうに聞いております。

それと合わせまして、この台数約260台ですけども、これで十分なのかということでございますが、最盛期、要するに一番集まる時にはいこいの広場、ここも臨時的に駐車場として利用する旨を計画されているというふうに聞いております。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） では、ありがとうございます。

今さっき言いましたように、今のターミナルは上って下っての乗船ですけども、今度のとはそういうことはないでしょうね。ありません。

ないということですから。どうぞ。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 上って下ってという、今、発言があったもんですから気になったんですけど、要は今度の国内ターミナルもフェリーのほうの高さの関係でボーディング・ブリッジをつくりますので、乗船は、フェリー等は2階からになるのではないかなというふうに思っております。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） フェリーは今でもそうですから、別にいいんです。外灯も関係ないです。

ただ、ヴィーナスに乗る時に、今、上って下って乗らんと乗れないんですよ。ちゃんとヴィーナス乗船の方は階段上って2階から云々と書いてあります、立て看板がありますので。それは、ものすごい不便で、市民からの苦情はたくさんありますので、今度のターミナルで乗船する時は、そのようなことはないでしょうねちゅうて尋ねております。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） そこらへの詳しい構造を見ておりませんので、担当部長のほうに答えさせていただきます。

○議長（小川 廣康君） 建設部長、佐伯廣教君。

○建設部長（佐伯 廣教君） 国内ターミナルビルについて回答したいと思います。

今度できる国内ターミナルビルなんですけども、一応、建物としては2階建ての面積が1,911平方メートルになっております。

先ほど市長が言われましたとおり、フェリーにつきましてはボーディング・ブリッジからの乗り込みになりますので、2階から乗り込みますけども、ジェットフォイルにつきましては1階にも待合室がありますので、ぜひとも2階に上らなくても、そのまま1階から乗船できるようになっております。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） 今の乗船口が2階に上って云々ちゅうて、私言いましたね。その上の上る所辺に、もう一つ通路が下からまっすぐ行くところありますが、そのときに看板が書いてあるんですね。2階からどうぞという。2階から行ったってまた下さ同じ所に下りてくる。こんな不便なことございませんので、そこ辺を聞いておりますが、どうでしょうか。同じですか、今と。

○議長（小川 廣康君） 建設部長、佐伯廣教君。

○建設部長（佐伯 廣教君） 先ほども申し上げましたとおり、1階の待合室があつて、そこで待ってもらって、そこからそのまま直接ジェットフォイルに乗り込むこともできます。

2階に上がれる人は上がってもいいし、そこから、また下がることもできますけども。

○議員（6番 吉見 優子君） それはおかしいでしょう。

○建設部長（佐伯 廣教君） 新しいターミナルの。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） ちょっと解せない返事です。市民の皆さん、いつも観光客の方たちも一生懸命乗って行って、上って、そしてまた狭い階段を下って、そして乗られますよね。

こんなのどうかと思いますよね。そして、今、言われたように下からでもいいですと言われても、その看板が書いてあれば上さへ上らざるを得んですよね。（「よく説明してよ。今のことを言いよるから、新しい」と呼ぶ者あり）

○議長（小川 廣康君） 建設部長、佐伯廣教君。

○建設部長（佐伯 廣教君） 新しいターミナルの分ですね。それで、別に2階もあるんですけども、2階に上らなくても直接1階から乗船することができます。別に上がる必要はありません。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） すいません。そしたらですよ、そのときはきちんと立て看板ものけとってもらわんと。真面目な人たちは必ず上って下ります。

以上です。これはこれで終わります。

全体的な完成はいつになりましょうか。

○議長（小川 廣康君） 建設部長、佐伯廣教君。

○建設部長（佐伯 廣教君） 現在の巖原港ターミナルの完成予定年度は、先ほども市長が申し上げましたとおり平成34年度でございます。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） 一般質問を出した時に写真も添付しておりました。

ほんとにこんなふうに暗いもんですから、暗いと言われて私のほうに言ってこられたもんですから、私はいつも福岡から帰ってくる時は、必ず1便を利用しておりますので、2便は帰ってきたことがないんです。

この要請を受けて、2便に乗ってきました。そして、下りたところ、なるほど暗いやと思って、そのときに撮った写真が、今、市長にお見せしております写真でございます。

そして、このときにも、これにも2階からのターミナルの電灯もつけてますよね。あのターミナルには2階から照らしてるのに3個ついてます。だけど、これが全く役目をしておりません。いろいろ言うたって仕方ないでしょうけども、新年度できるターミナルに期待したいと思います。

それで、私、24年の10月17日に巖原港整備検討委員会が開催されまして、私も委員として出席しておりましたが、その後2回、3回とありまして、25年2月27日にその検討委員会

が終了しております。そのときに、全体像の模型を見せてもらったんですけども、委員の皆様がくちばしに、「これとてもじゃない、いつできるかわからんね。自分が生きとる間にできるやろうか」という声を皆さん言ってありました。

だから、当時は、25年から30年の計画だったと思いますが、変更が25年から34年と4年間ものんだような予定でございますので、このようなことがないように、この事業を完成するまで頑張っていたきたいと思います。

次に、ふれあい処の関係ですけども、市長が答弁されましたように、年間、暮れの29日から1月3日までの6日間休みで、それ以外は全部年内無休だということ聞きました。私も調べたらそのようでした。

このことについては、すごく頭が下がります。ずうっと365日、359日か。年内無休で頑張っておりますので、大変頭が下がる思いですけども、この建物は対馬市で一番いい一等地の店ですね。場所にありますので、新年度から全部とは言いませんけれども、私の希望としては3が日は開けてほしいかなという希望を持っておりますが、いかかでしょうか。

○議長（小川 廣康君） 市長。ちょっとその前に、議長から申し上げますが、先ほど31年とか、34年とか、市民が理解できないような答弁が理事者側からあっておりますので、そこらあたりきっちり整理をして答弁をお願いします。

市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 議長からも御指摘がありましたように、この平成34年の完成は、この物揚場岸壁のほうの部分が、平成34年度の完成予定ということで、この国内ターミナルの完成は平成31年度の完成予定であります。

それと、先ほどありました例の照明灯の件でございますけども、照明灯のほうも、これは、今現在の照明灯のほうも足元が暗いということで、これも検討を重ねてまいる所存でございますので申し添えさせていただきます。

それと、そのふれあい館のほうにつきましては、先ほど吉見議員からも説明されましたように、現在は正月の3が日、そして年末は休んでおりましたが、観光物産協会様のほうでスタッフ等の意向もお聞きになりまして、できたら年始のほうを少し試行的に開けてみたいというようなお話をいただいているところでございます。

以上です。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） そのふれあい処の日にちですけども、私は今年の明けてのお正月、30年の1月1日か。これは急を要しても、それを逃せば来年度になりますので、この際、1日も早く協議をしていただきたいなということで、今回は一般質問を1番目。



1 1月の28日が最終日でしたけれども、私はこのことが一番気が急いでおりましたので、1番バッターでしょうかということ、1月22日の午前中に出しました。ところが、わからなかったもので、会派の方たちが1番でございまして、それはこの日に終わるからいいんですけども、そういう気持ちでしておりますので、ぜひとも新年明けてからのことで、女性の方が多く働いておられますので、大変でしょうけども、よろしくお願ひしたいと思ひますので、これが終わったら、市長もその関係者の方々に対して、協議をしていただくようお願いしていただけないでしょうか。

いいですか。はい。

それと、私もどのくらい3が日といい、お客さんが来られるかなということ、入国管理局に行って調べてまいりました。そしたら、結構ですね、2,263人とか2,375人、そして2,550人。ずっとそんなふうな数が聞かれました。これは韓国の人と船と飛行機を合わせた人数でございまして。

そして、さらにびっくりしたのは、ふれあい処で問い合わせ、観光客の方から問い合わせとか、窓口に来られていろいろ質問される方的人数なんですけれども、今年の4月は1,522人。日にちにしまして51人の方が、このふれあい処の窓口と電話をされております。5月は2,294人、日割りにして77人。こんなふうに毎日多いんですね。窓口とかふれあい処の観光を利用される方がですね。

年平均、去年のデータ等含めまして、年平均しますと、28年は52件ぐらいになっております。そして、さらに29年の10月までは61件の方が窓口なり、電話なりで観光のことを聞かれておりますので、これにしても9件増えておりますね。

そういうこともありますので、ぜひとも今から先世界遺産に登録されたことにより、なお一層の観光客が来られると思ひますので、そのところを含みとっていただきまして、大変でしょうけど当事者、そこで従業員働かれることは大変だと、私もわかります。

でも、こういうことを考えていただき、対馬のためにひとつ頑張っていたいただきたいと思います。私の要望としては、今まで言った3が日は開けてほしいのやと思っておりますが、いかがでしょうか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 先ほど答弁したとおりでございますが、スタッフの事情等もありまして、3が日全てを開けるわけにはいかないということでございますけども、この3が日のうちのいずれかを開けるというようなことで、今、協議を進めていただいているところでございます。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） どうも、すいません。時間が、私、過ぎたの気がつきませんでし

た。

どうもいろいろとありがとうございます。これで私の一般質問は終わります。ありがとうございます。  
（「過ぎてないよ」と呼ぶ者あり）

○議長（小川 廣康君） まだ時間はありますけど、吉見優子君の質問を終わります。

○議長（小川 廣康君） 暫時休憩します。すいません。再開を午後2時15分からとします。

午後1時59分休憩

午後2時14分再開

○議長（小川 廣康君） 再開します。報告します。8番、湊上清君から早退の届け出があつております。

引き続き、市政一般質問を行います。5番、小島徳重君。

○議員（5番 小島 徳重君） 皆さん、こんにちは。5番議員、会派つしまの小島徳重でございます。

今回の一般質問では、3項目通告しておりましたが、1項目めの万関橋周辺の観光拠点整備に係る質問は、今回は取下げをさせていただきます。したがって、2項目について一般質問を行います。

まず、不登校対策児童生徒等に対する教育機会の確保等についてお尋ねします。

対馬市教育委員会では、対馬市教育振興基本計画において、不登校児童生徒を平成32年度末にはゼロにする数値目標を掲げ、29年度教育要覧では、不登校児童生徒の前年度比1割減を目指しておられます。手立てとして、各学校での献身的な取り組みとともに、関係機関及び専門機関との連携強化を掲げられ、とりわけ、フリースペースみちしるべとの連携を重視されています。

平成29年2月には、不登校の子供たちが教育を受けるため、教育機会確保法が施行され、国及び自治体の施策策定の責務及び財政上の措置を講ずるよう規定しています。

対馬市においては、フリースペースみちしるべが、学校生活になじめない子供たちや保護者の皆さんに寄り添い、地道な活動を続けておられます。会費と対馬市からの補助金で運営されていますが、活動をさらに充実させるためには、市からの補助金を増額すべきであると考えます。教育長の見解を伺います。

次に、対馬市学校情報化推進計画の大きな変更点についてお尋ねします。

ICT教育の必要性、早期の機器の整備を訴えてきた者として、教育委員会の動きには注目するものであります。3年間にわたり、教育委員会内部で練り上げ、策定し、昨年6月に提示した計画を、今年度9月の全員協議会の場で大きく変更すると発表されましたが、学校現場を初め、